

新規採用職員辞令交付時 訓示

市長の上地です。

本日、皆さんを新たな仲間として迎え入れることができ、大変うれしく思います。

全国には、千を超える自治体があります。また、市内にも数千の企業があります。

その中で、職場を共にし、市政発展という一つの目標に向かい一緒に働けることは、まさに運命的な出会いであると思っています。

まずはこの出会いを、素直に喜びあいたいと思います。

本来であれば一人ずつに辞令を渡し、激励の一言とともに、その喜びと皆さんの決意をともに共有したいところではありますが、このコロナ禍でそれが叶わず、非常に残念です。

皆さんもご存じの通り、世界中が、このコロナの影響で未曾有の事態となっています。

ここ横須賀も例にもれず、これまでにない危機に見舞われています。

昨日は年度末ということもあり、定年退職者八十九名に退職辞令を渡しましたが、本日、新規採用職員として採用辞令をお渡しするのはおよそ半分の四十八名しかおりません。

それほどこのコロナ禍により、横須賀市の財政状況は、かつてないほどひっ迫しています。

ただ、行政として、様々な市民サービスは充実させなければならず、また、未来に向けた必要な投資を止めることもできません。

そこで、これまで行ってきた様々な事業に加え職員の配置を含めた内部管理を徹底的に見直しました。その結果の一つとして、本日の新規採用辞令の数に至っています。

私自身、このような事態となり忸怩たる思いですが、こうした年に皆さんは入庁されます。

まずは現在、横須賀市がどのような状況であるのかを理解してもらいたいと思います。

冒頭から厳しいことを話しましたが、これから一緒に仕事をする新しい仲間とは、この事実を是非とも共有をしたいと思い、話をさせていただきました。

このような困難な状況の中、厳しい選考を経て選び抜かれた皆さんを、私を含め多くの職員そして市民は、大きな期待をもって待ちました。

そんな皆さんに2点お願いがあります。

まず1点目です。

日々の業務の中で、是非とも「忠恕」という言葉を、常に意識して業務にあたるよう

にしてください。

採用のパンフレットにも掲載しておりますが、私は就任以来一貫して、市の職員として業務に臨む姿勢に、「忠恕」というものを求めています。

忠恕とは、聴き慣れない言葉かもしれませんが、これは孔子が唱えたものです。

私の部屋の入口には、この言葉を掲出しています。なので、職員は、この言葉を見ずには私の部屋に入室することはできません。

それだけ、私は、市政を預かる上で、この言葉の持つ意味を大切にしています。

言葉の意味については、まずは皆さんが、それぞれ調べてください。

職場の先輩に聞いてみるのもいいと思います。答えることのできない先輩がいたら、その人は横須賀市の職員ではありません。

それくらいしっかりと心に留め置き、日々の業務にあたるようにしてください。

2点目です。

変化を恐れず、常に横須賀のあるべき姿を意識するようにしてください。

皆さんは今、約三千人いる職員の中で、最も市役所の組織に染まっていない、良い意味で、組織からは一番遠い、変化をもたらすことのできる存在です。

コロナ禍の今、十年後の未来が一気に来たともいわれていますが、私は、今後、社会構造が、更にどのように変わっていくか、十年後の変化では足りないのではと置いてい

ます。

進化論では、種の保存に必要なことは、強さでも知能でもなく、変化に対応できる能力とされています。

ただ、残念なことに、コロナが世界を覆ったこの一年間で見えたことは、我が国の行政システムの古さと鈍重さです。

欧米や中国、台湾はもとより、世界中を見渡してもこのコロナへの対応において、日本の行政の対応は、国、県、市町村のどの対応をみても、現代の世界の社会システムから、置き去りにされているようにしか見えませんでした。

横須賀主義の私としては、このコロナ禍において、何をするのに国、県が関わり、時間も含め様々な制約がかかることに辟易していました。

特にワクチンに至っては、供給量も時期も不明な時が続き、いつになったら横須賀で接種が開始できるのか、待っている市民のことを思い、本当に悩みました。

なかなか市の職員として、国の制度まで論じることは想像がつかないかもしれませんが、私は、横須賀市の市長として、皆さんには、行政や組織のルール、固定観念、そして前例踏襲主義に決して縛られることなく、市民のために広い視野を持ち、変化を恐れず、新しい時代の社会のあるべき姿、そして何よりこれからの横須賀のあるべき姿を常に意識してもらいたいと思います。

本日こうして、皆さんを迎えることができたことを大変うれしく思います。

横須賀市政発展のため、ともに前に進みましょう。

大いに期待しています。